



# 老人保健 医療費 308億円

これまで、75歳以上のかたの医療を支えてきた老人保健医療制度。この4月からは、医療費の負担を、より公平で分かりやすい仕組みにしようとして作られた「後期高齢者医療制度」に移ります。

平成18年度に医療費がどのくらい使われたのか見てみましょう。



秋田市で老人保健医療費が多かった病気は？

- 第1位 循環器系：32・5%  
脳梗塞、高血圧性の疾患など
- 第2位 新生物：10・0%  
胃がん、結腸がんなど
- 第3位 消化器系：8・7%  
胃炎、歯周疾患など
- 第4位 尿路・性器：7・4%  
腎不全、前立腺肥大など
- 第5位 精神障害系：7・1%  
血管性の認知症など

(秋田市国保加入者・平成19年5月診療分)

## 1人当たりの医療費は微増

平成18年度に秋田市でかかった老人保健医療費は約308億円(グラフ1)で、前年度より13億円減っています。

1人当たりで計算すると年間約83万3千円かかったことになり、前年度より5千円増えています。

\*老人保健の対象者は75歳以上のかた、または65歳以上で一定の障害があるかたです

\*老人保健医療費には、自己負担金は含まれていません

## 入院費用が163億で5割超

医療費の使われかたを見ると、入院費用が全体の5割以上を占めています(グラフ2)。

また、老人保健医療費は、国民健康保険など各種健康保険からの拠出金(支払基金)や国、県、市の負担金(税金)などでまかなわれ(グラフ3)、国民全体で支えていることがわかります。



一人ひとりが病気の予防や健康づくりに取り組み、次のことも心がけて医療費を有効に使いましょう。

病気の早期発見と早期治療を心がけましょう

かかりつけのお医者さんを持ちましょう

お医者さんを信頼し、指示を守り、同じ病気でむやみに複数のお医者さんにかかるのはやめましょう

薬は、お医者さんの指示どおり正しく服用しましょう

問い合わせ

障害福祉課医療福祉室

(866)2513

ファクス(863)6362

# 市が出資する 団体を監査しました



堀井・包括外部監査人

平成19年度の包括外部監査を依頼している堀井照重・公認会計士(写真)から、監査結果の報告がありました。

包括外部監査は、秋田市の財務事務が適正に行われているかを市の組織に属さない独立した立場の監査人がチェックするものです。

今回は、市の出資団体(秋田市土地開発公社など9団体)の事業にかかわる出納事務などの監査が行われました。その中からいくつかの指摘事項・意見をお知らせします。

市ではこれらの内容を検討し、順次改善を進めていきます。

## 監査対象団体(9団体)

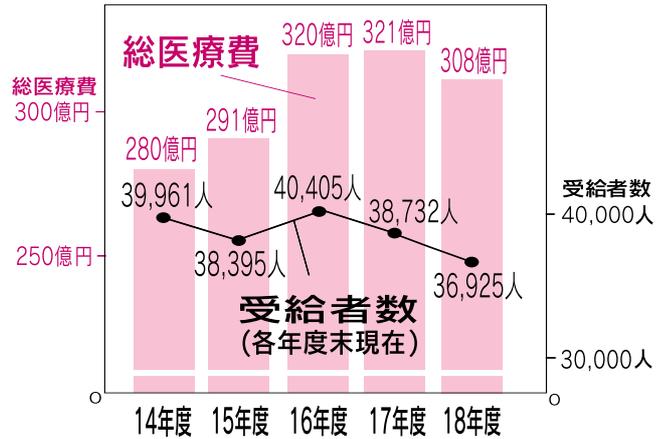
秋田市土地開発公社 (財)秋田市駐車場公社 太平山観光開発(株) (財)秋田観光コンベンション協会 (財)秋田市学校給食会 河辺地域振興(株) (財)雄和環境保全公社 (株)雄和振興公社 (財)秋田市総合振興公社

## 監査結果のおもな内容

- ・事業の実施主体が不明確な委託契約などは契約内容を見直す必要がある
- ・随意契約の根拠を明確にする必要がある
- ・指定管理者制度の運用にあたっては、原則、公募とすべきである
- ・出資団体への市補助金は、補助対象経費の算定過程を明確にした交付要領を定める必要がある
- ・出資団体に対する貸付は、貸付利率などの条件を見直す必要がある
- ・出資団体が市の行政財産を使用する場合、市財務規則などに基づいた適切な使用許可手続きを行う必要がある
- ・秋田市土地開発公社は、土地の先行取得事業がなくなっており、事業の休廃止を検討すべきである
- ・(財)秋田市駐車場公社は、事業自体から収益が見込まれるため、出資関係を解消すべきである など

グラフ 1

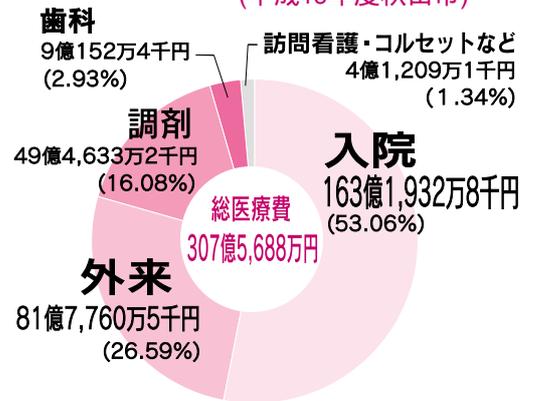
## 秋田市の老人保健医療の 総医療費と受給者数



グラフ 2

## 老人保健医療費の使われ方

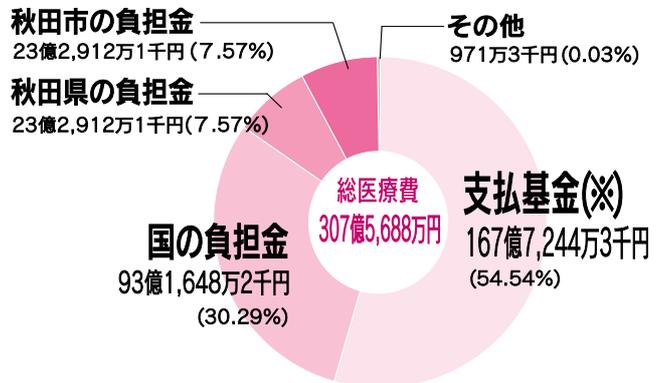
(平成18年度秋田市)



グラフ 3

## 老人保健医療費の負担割合

(平成18年度秋田市)



支払基金：各種健康保険の加入者が納めている保険料から出されているお金